

# 高濃度ビタミンC（アスコルビン酸）点滴療法について

## ～ 説明と同意書 ～

ビタミンC点滴療法は、米国カンサス州のDr.Hugh Riordan(1932-2005)／Riordan Clinic (<http://www.riordanclinic.org/>) を中心に行われ、現在では世界中で広く行われている治療法です。当クリニックで使用するビタミンC製剤は、上記の米国施設で使用されているものと同等の製剤を、治療目的に医師が個人輸入を行っています。今までの日本国内の医療機関で多くの患者さまへ使用実績があり安全性は確認されていますが、厚生労働省によって認可されたものではありません。

この治療は、癌などの悪性疾患・うつなどの精神症状・慢性疲労症候群・アトピー性皮膚炎など皮膚疾患・慢性関節リウマチなどが適応となります。この治療法の特徴をご理解頂き、患者さまご本人およびご家族の方々の同意を頂いた後に治療を始めさせていただきます。

### 方法

- ビタミンCを溶解した製剤を静脈へ点滴します。
- 所要時間は、ビタミンC25gで約1時間、50gで約2時間ほどかかります。
- 長時間の点滴となる場合には、飲み物や食べ物をお持ち下さい。

### 特徴

- この治療法は、標準的治療にとってかわるものではありません。
- 癌の治療では、標準治療の効果を高め、副作用を軽減させることが確認されています。
- この治療を単独で行う場合には、他の治療法によって明らかな効果が期待できないとき、他に有効な方法が無い場合、従来の方法では改善が期待できないときなどです。
- 他の治療法によって効果が期待できるときにも併用することが可能です。この場合にも、従来の治療法の効果を減弱させるような作用はありません。

### 予想される副作用・合併症

- 腎の機能障害：事前の検査にて腎臓の機能をチェックいたします。
- 溶血：特殊な体質（非常にまれです）の場合には溶血をおこします。50g施行前に、貧血がないかとともにあらかじめ採血で事前にチェックを行います。結果に1週間程度かかります。
- 点滴部の痛み：点滴速度を遅くすることによって対応します。
- 一時的な低カルシウム症状：ビタミンCのキレート作用と尿量が増えることで、手のしびれなどの低カルシウムの症状が出現することがあります。カルシウムの点滴混入ですみやかに消失します。
- その他、点滴部の発赤、体のほてり感、動悸、頭痛、嘔気など：いずれも軽度であり、点滴速度を遅くすることで対応します。いずれの症状も点滴当日には改善することがほとんどです。

### その他

- 糖尿病でインスリン注射を行っている方へ。点滴後12時間以内は血糖測定器がみせかけの高値を示し、この数値でインスリン注射を行うと低血糖になります。点滴後12時間の測定は控えてください。
- 点滴の滴下に時間がかかるため、点滴をご希望される場合は、あらかじめ予約をお取りください。
- クリニックの長期休診(年末年始、GW、夏期休暇などの一週間前後の休診)の間は、治療をお受け頂く事ができません。予めご了承下さい。
- ご本人への癌などの病態の未告知の方には対応できません。
- この治療は、これまで行われている治療に取って代わるものではありません。日常の病状に対する悩み事・ご不安な点は、従来のかかりつけ医や主治医へご相談ください。

.....

上記に記載された内容を理解し、高濃度ビタミンC点滴療法を受けることに同意します

20      年      月      日

ご本人

ご家族